

大潟区 第56号 地域協議会だより

発行日 令和6年3月25日

発行 大潟区地域協議会
会長 佐藤忠治

編集 会報編集委員会

事務局 大潟区総合事務所
総務 地域振興グループ

電話 025-534-2111

地域協議会委員の任期終了を迎え

人魚館の利活用の促進を 集中的に検討

会長 佐藤忠治

1月1日に発生した能登半島地震の大きな揺れと「津波警報が発生したので直ちに避難してください」とのテレビ放送で新年が始まりました。

そんな中、大潟区地域協議会委員としての5期目の任期を4月28日をもって全うできることは、皆様方のご理解、ご支援の賜物と感謝しております。

振りがえると、前職2名と元職員1名以外は新人11名の14名で始まりました。途中、昨年1月に山岸敏幸さんが任期半ばに亡くなりました。

4年間の審議では令和2年度から4年度まで「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用の促進」に絞り、集中的に検討いたしました。



大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館

2グループに分けてのワークショップ形式を取り入れたり、パソコンとプロジェクターを利用した意見集約、「検討会」を設けて意見整理を行うなど、協議会の審議の促進を図りました。

鵜の浜温泉の一角にありながら利活用が促進しないことから、視察や人魚館職員との意見交換、利用者アンケートなどを経て、意見書にまとめて令和4年12月に市長に提出。なお10月は、人魚館の創業25周年記念にあたり、大潟町小学校5年生と大潟町中学校2年生が、人魚館駐車場の「壁画製作」に協力したことが新聞にも取り上げられ関心を集めました。



ワークショップ形式で人魚館の利活用の促進について審議
(令和4年1月27日)

令和5年1月に市長からの回答を得て、協議会委員5人が準備委員となり、5月27日に人魚館サポーターズクラブの設立にこぎつけました。

今後とも地域協議会に引き続きご支援とご協力をお願い致します。



支援事業のプレゼンテーション
(令和2年6月3日)

大潟区の配分額 710万円

令和2年度 9件
補助額 710万円
令和3年度 10件
補助額 645万6千円
令和4年度 6件
補助額 360万5千円

地域活動支援事業の 審査を担う

令和2年～4年



壁画制作に協力
大潟町中学校2年生
令和4年10月

地域協議会活動報告会



2月29日(木)大湊コミュニティプラザにて、地域協議会の活動報告会が開催され、30人が参加しました。

佐藤会長が、「4年間の地域協議会の活動概要」を報告しました。引き続き、大湊区における「地域活性化の方向性」についての全体説明を俵木副会長が報告し、地域の活性化の中で、深掘りして協議している「地域の魅力向上」について、土屋委員がプロジェクターを使って説明し、会場からの意見を求めました。

参加者からはその場で意見を発表してもらっただけでなく、アンケート用紙に記入して提出していただきました。参加者からの意見を参考に、次期協議会委員への引継ぎ事項にしたいと考えています。

【意見・感想】

- ・しっかりとまとめられていて良かったが、実行に移すにあたり、しっかりとこない気がした。(九戸浜町内会長)
- ・すばらしい内容ではありますが、絵に書いたモチではなく、区民の幅広い参加のもとで形にして継続できる仕組みを作ってください。(アンケート回答)
- ・参加いただいた皆様には熱心に聞いていただき、また、貴重なご意見、ご感想を寄せていただきました。充実した報告会でした。(五十嵐公子委員)

地域活性化の方向性の今後について

協議会では市へ提出した5項目の中から、「地域の魅力の向上」として「鵜の浜温泉、北國街道・湯町宿をはじめとする大湊の歴史遺産や観光資源の魅力を発信」について、主に大湊区域外へどのようにアピールしていくべきかなど深掘りを始めております。

大湊地域の魅力の全体像が無い、魅力を作る人材不足、発信力が弱い、観光ガイドがないなどの課題を整理し、協議しながら進めてまいります。

次期委員へ引継ぎ事項となりますが、皆様からご意見も頂きながらまとめて行きたいと思えます。ご協力お願いいたします。

地域協議会の開催状況(令和6年1月～3月)

第10回	1月25日 (木)	①日帰り・宿泊温泉施設の適正配置の取組について ②「上越市青少年野外活動施設(大湊野外活動施設)の廃止について」の答申に対する回答について ③地域協議会活動報告会について ④地域活性化の方向性の課題の整理について
第11回	2月15日 (木)	①地域活動支援事業(大湊区)の検証結果について ②地域活性化の方向性の課題整理について
第12回	3月21日 (木)	①地域独自の予算の事業一覧について ②地域活性化の方向性の課題の整理について ③4年間の活動の総括について

視察・勉強会・研修会などの開催状況(令和6年1月～3月)

地域協議会活動報告会 (大湊コミュニティプラザ 多目的ホール)	2月29日 (木)	①大湊区地域協議会の活動報告について ②大湊区における「地域活性化の方向性」について ③地域協議会委員の公募及び地域独自の予算について
---------------------------------------	--------------	---

四年間を振り返って

任期終了にあたり、想いを
寄稿してもらいました。



地域の課題を確認

細井 雅明

大潟と地域に生れて、ずっと過ごしてきた地域に何か役立てないかと4年間参加してきました。結果として何もできなかったなどというのが実感です。今後、少しでもこの経験を活かしたいです。

今後のために

俵木 一松

私は、地域協議会を理解しないで委員になってしまい、荷が重く感じました。
4年間の活動で何ができたかと考えれば、微力ではなかったと思います。4年間の経験を自分の糧にしたいと思います。

協議会への参加に感謝

中野 幹根

定年も間近になって今まで住んでいる町内に恩返しはできないかと考えたのが、この委員になったきっかけでした。
私のような新人とベテランとの話のギャップに悩むことも多々ありました。在職中は月一とはいえ会費が長時間に亘ることがあり、厳しいものを感じました。
しかし、過ぎてしまえば短い4年間だったような気がします。地域協議会に参加できたことに感謝いたします。

地域協議会に願うこと

金澤 信夫

地域協議会委員になり、自主的審議事項の協議、地域活動支援事業の審査及び採択を通じて地域活性化のために多くの方や団体が尽力されていることを知ることができました。

一口に地域活性化と言っても、いろいろな問題があることから非常に難しいと感じています。今後も地域独自の予算等を活用して活発な活動していただきたいと思います。大潟区地域協議会が、その活動を協力、支援できる協議会になることを願っています。

新型コロナウイルス感染症の4年間

君波 豊

新型コロナウイルスの感染者が令和2年1月、日本で初めて確認され、時を同じくして、第5期大潟区地域協議会がスタートしました。

感染禍中で、新首長が誕生し、事業主体の負担を伴う地域独自予算が提案され、資金力のない団体も含めて、広く市民に受入れられるか、地域協議会の審議力・協議力、「力」が試されるのではないかと思います。

任期を振り返って

関 清

今期、「鵜の浜人魚館の活性化」がサポーターズクラブとして結実した。活躍を期待したい。

気になることがある。このところ大潟区内のスポーツ施設や公園施設の閉鎖提案が相次ぐ。根拠にしているのは利用データ。公共福祉施設だ。

最近、元岩手県知事だった増田寛也氏のシンクタンクから2050年日本の人口動態がニユースされた。およそ8千万人。現在およそ1億2千万人。農業就農人口およそ35万人。現在およそ120万人。腰を抜かした。中央集中化、地方切り捨ての新自由主義的選択と集中のイデオログだ。いま、拝金主義のなんでも宣伝がタンス預金の株投資を煽る。政府もNISAを喧伝する。この手のイデオログがこの国の操舵手を牛耳る。地域は暮らしの場、風土が息づく場。新自由主義の算術の夢想世界の対局にある。

気づいたことがある。第7次総合計画である。到底私だけで立ち向かえるもので無いが、再読しなければと思う。
お世話になりました。

勉強になり感謝

副会長 俵木 晴之

長くも短くも感じた4年間であり、後半の2年間は副会長という職責の中、協議会の役割の認識がより必要と痛感いたしました。

大湊区をはじめ、上越市全体について分かったところですが、私には大変プラスになりました。次期委員には、現在検討中の事項を引き継ぎも含め、更なる研鑽をご期待いたします。

ご支援を戴きました総合事務所の方々には感謝を申し上げます。ありがとうございました。



全てが貴重な経験

濁川 清夏

4年間の活動の中で、頸北4区、各地域が抱える問題などを地域協議会だよりや合同研修会で知ることができた。

また、地域の魅力をいかに発信するかを「地域活性化の方向性」で知り、これら全てが貴重な経験でした。

活動に集中できず残念

新保 輝松

委員になった当初は、多くの人たちが地域のために活動していることを知り、頭が下がる思いでした。

しかし、地域協議会の存在意義や魅力を見い出せないまま任期満了を迎え、活動や会義に集中できなかったことが残念です。

次期委員に期待する

土屋 郁夫

COVID-19への対応で苦労した4年間でしたが、今年1月の能登半島地震を鑑みて、地域全体での「域助」の必要性を感じています。

次期委員には「地域」同士が協力して、暮らしを守っていく活動への提言を期待します。

人魚館サポーターズクラブへ尽力

五十嵐 公子

コロナ禍からはじまった大湊区地域協議会委員活動。何もかもが初めてのことで先輩委員さんより指導していただき、4年間の集大成「活動報告会」を無事に終えることができて感無量です。

引き続き、委員5人で立ち上げた「人魚館サポーターズクラブ」へ尽力していきます。

人魚館サポーターズクラブ設立

五十嵐 郁代

4年間を振り返り、人魚館サポーターズクラブの設立は、私にとってたいへん大きな活動であったと思います。

地域協議会は、自分たちが主体団体となって何かをすることはありません。しかし、自主的審議事項として取り上げた人魚館の利活用に関しては、地域に住む私たちが話し合いだけでなく、実際に人魚館を盛り上げることが利活用に繋がるということをきちんと形にしたものだと思います。

地域協議会の任期は終わりますが、これからも何かしらの形で地域活動にかかわっていききたいと思っています。

4年間

ありがとう

ございました



編集後記

任期4年の最後の協議会だよりとなりました▼コロナ禍から始まり、今年の元日には能登半島地震により上越市内も震災に遭いました。改めて「防災」について考えさせられました▼地域協議会委員が取り組んだ「大湊区の地域活性化に向けて」は、途上ではありますが、大湊区の歴史遺産や観光資源の魅力発信について、次の委員に引き継ぐ予定です▼これらの大事な「お宝」を守るということを若い方にも知っていただく活動を期待しております▼4年間本当にありがとうございました。(五十嵐 公子)

編集委員

五十嵐 郁代・金澤 信夫
五十嵐 公子・俵木 晴之